

令和5年度版

令和5年度
国立科学博物館 大学パートナーシップ
入会のご案内



Partnerships
with
Universities



国立科学博物館

はじめに

科学技術と社会が密接不可分な関係になっている今日、日頃から科学技術について興味・関心を持ち、自らの問題として意識していくことは、科学技術の健全な発展のためにも、21世紀を豊かに生きていくためにも必要です。

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」事業は、大学等学校と国立科学博物館が連携して様々な活動を展開していく事業です。常設展示の無料入館や各種講座の優先受入れ等を通じ、文系・理系を問わず全ての学生の皆様の科学リテラシー向上と豊かな感性の涵養に貢献できると考えています。

当館は「日本列島の自然と私たち」をテーマとする日本館、「地球生命史と人類」をテーマとする地球館の展示を合わせると、10,000㎡を超える展示面積を有しております。この常設展示におきましては、最新の研究成果を取り入れ、常に新しい情報を提供すべく、随時展示更新を行っております。

また令和5年度の特別展・企画展では、「恐竜博2023」「和食～日本の自然、人々の知恵～」等を開催する予定です。

平成17年度に21大学で始まった本事業は、令和5年1月現在の会員数は75件となり、令和4年4月から12月までに、延べ約4万人の皆様が大学パートナーシップ制度を利用し入館(入園)しています。

令和3年度に実施した利用者アンケートでは、展示や大学パートナーシップ制度について好意的なご意見をたくさんいただきました。また、本事業で実施している各種講座等にも多くのご参加があり、大学パートナーシップ制度を十分活用いただけたものと考えています。

当館は、今後とも社会に根ざし、社会に支えられ、社会的要請に応える博物館として、大学をはじめとした社会の様々なセクターと連携・協働する博物館を目指して参ります。

令和5年1月

独立行政法人 国立科学博物館



国立科学博物館のロゴマークのご紹介



「想像力の入口」
全体の形は、リズムカルな放物線を描き、恐竜やサメの歯、門のように、また、個々の形は、花びらや炎が揺らめきながら広がっていくようにも見えます。このように、このマークは人々に様々な想像を促します。

国立科学博物館 大学パートナーシップのロゴマークのご紹介



Partnershipの頭文字「P」を重ね合わせ、双葉の形をデザインしました。双葉は、力強く伸びていく様子を表しています。大学と国立科学博物館の連携による大学パートナーシップ事業が発展し、学生の科学リテラシーやサイエンスコミュニケーション能力が向上するようお願いを込めています。

連携事業のご紹介

国立科学博物館は、学生数に応じた一定の年会費を納入した入会校の学生のために、次の連携プログラムを用意いたします。

1. 常設展の無料入館と特別展の630円引



常設展

入会した大学等の学生は、学生証を提示することにより、以下の施設へ無料で何度でも入館（入園）いただけます。また、授業の一環で学生を引率して来館した教職員の方は、職員証等の提示により常設展が無料となります。

国立科学博物館（上野公園）

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20



展示面積は約11,300㎡で、科学系博物館において国内最大規模を誇ります。良質で豊富な実物標本資料を中心に、フロアごとに展示テーマを設け、常設展示のメインメッセージである「人類と自然の共存をめざして」を、体系的にわかりやすく伝えられるような展示構成を特徴としています。平成20年度には、日本館が重要文化財に指定されました。通常入館料:630円

附属自然教育園（東京都港区）

〒108-0071 東京都港区白金台 5-21-5



大都市「東京」の中心部にあって今なお豊かな自然が残る、都会の中の貴重な森林緑地です。園内には、落葉樹、広葉樹、草はら、池や小川などがあり、四季にわたって様々な草花や野鳥などの生き物を身近に観察できます。また、日曜観察会、自然観察指導者研修、自然史セミナーなど、学習支援活動も行っています。通常入園料:320円

筑波実験植物園（茨城県つくば市）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1



自然の景観と植物多様性を凝縮した約14万㎡の園内は、「世界の生態区」と「生命を支える多様性区」の2つに分けられ、約3,000種の植物が展示されています。収集保全している植物をもとに、世界の様々な植生環境を再現し、植物の多様性を体験的に学習できるような植栽展示を行っています。各種学習支援活動も行っています。通常入園料:320円



企画展

日本館1階の「企画展示室」等にて開催する、当館の研究者が中心となって企画する展示です。常設展内の展示であり、パートナーシップ入会校の学生は無料でご覧いただけます。

令和4年度 開催例

「残して伝える！科学技術史・自然史資料が語る多様なモノガタリ」

令和4年8月5日(金)～9月4日(日)

「WHO ARE WE 観察と発見の生物学

国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol.01 哺乳類」

令和4年8月5日(金)～10月10日(月・祝)

「解き明かされる地球と生命の歴史 —化学層序と年代測定—」

令和4年9月27日(火)～12月4日(日)

「ワイルド・ファイヤー：火の自然史」

令和4年11月15日(火)～令和5年2月26日(日)

静岡大学・国立科学博物館共同企画展「テレビジョン技術のはじまりと発展」

令和4年12月13日(火)～令和5年2月5日(日)

今後の開催予定

「ボタニカルアートで楽しむ日本の桜 —太田洋愛原画展—」

令和5年3月14日(火)～4月9日(日)



特別展

地球館の「特別展示室」にて開催される展示です。パートナーシップ入会校の学生は、特別展入場料(一般・大学生)から常設展示入館料630円(税込)を引いた金額でご覧いただけます(割引券との併用不可)。開館時間や休館日、入場料、予約方法等の詳細は決定次第、公式サイトでお知らせします。

令和4年度 開催例

「宝石 地球がうみだすキセキ」 令和4年2月19日(土)～6月19日(日)

「化石ハンター展 ～ゴビ砂漠の恐竜とヒマラヤの超大型獣～」

令和4年7月16日(土)～10月10日(月・祝)

「毒」

令和4年11月1日(火)～令和5年2月19日(日)

今後の開催予定

「恐竜博2023」 令和5年3月14日(火)～6月18日(日)

「海」

令和5年7月15日(土)～10月9日(月・祝)

「和食 ～日本の自然、人々の知恵～」

令和5年10月28日(土)～令和6年2月25日(日)



2. 各種講座等の優先的受入れと、受講料減額



サイエンスコミュニケーター養成実践講座

科学と社会との架け橋となるサイエンスコミュニケーター養成のための実践講座です。令和5年度はオンラインと対面を組み合わせる予定としております。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・入会校の学生は通常の半額で受講いただけます。

- サイエンスコミュニケーション1(SC1):コミュニケーション能力の育成
- サイエンスコミュニケーション2(SC2):コーディネーション能力の育成
- SC1、SC2の両科目を修了すると「国立科学博物館認定サイエンスコミュニケーター」認定証を授与

※対象は大学院生です。

※当講座を大学院の教育課程に応じて大学院の授業科目として行い、単位認定することも可能です。

※開催時期、受講料、コマ数、実施方法等については令和5年4月以降に発表予定の募集要項をご確認ください。

令和4年度の実施例



(SC1: 受講者によるディスカバリートーク)



(SC2: 受講者によるサイエンスイベント)



大学生のための自然史講座

日本列島の自然史について、当館の研究者を中心に様々な分野からアプローチする講座です。自然史教養的な内容ですので、理工系学部以外の方でも科学や自然史に対する興味の幅を広げることが可能です。令和5年度は、全9回をオンラインで実施予定です。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・受講料通常 18,900円のところ9,500円で受講いただけます。(予定)

※隔年で開講。

※開催時期等詳細については、令和5年3月頃に発表予定の募集要項をご確認ください。

講座内容一覧（令和3年度）

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 自然史を意識することで自分をちょっと変えてみよう！ | <input type="checkbox"/> 日本の水域環境の多様性と固有種 |
| <input type="checkbox"/> 日本列島はどのようにしてできたのか？ | <input type="checkbox"/> 多様性を生み出す進化のしくみ |
| <input type="checkbox"/> 日本の中生界の陸上古動物相 | <input type="checkbox"/> 日本列島にやってきた人々 |
| <input type="checkbox"/> 現代生物学における生物観 | <input type="checkbox"/> アジアにおける日本の生物相 |



大学生のための科学技術史講座

日本の科学技術史に関して、主に当館の研究者が講師となり、様々な分野からアプローチする講座です。令和4年度は全6回をオンラインで実施しました。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・入会校の学生は通常の半額で受講いただけます。

※隔年で開講。(令和5年度は開講しません。)

講義内容一覧（令和4年度）

- 【日本の科学技術】
- 日本の科学技術・産業技術の概論
 - 日本の近代建築
 - 科学語彙の変遷から見る日本と科学の出会い
 - 日本の科学技術を支えた女性計算係たち
 - SDGsと科学技術
 - 博覧会からみる日本の近代化と科学技術





学芸員資格取得のための博物館実習

博物館学芸員の資格取得を目指す学生のために、調査研究・資料の収集保管について実習を行うAコースと、学習支援活動について実習を行うBコースの2コースを設けています。

- ・入会校の学生を優先的に受入れます。
- ・実習料通常 10,480 円のところ 5,250 円で受講いただけます。

※教材費実費として2,000円程度を別途徴収します。

※対象は大学生または大学院生です。

※募集要項は、例年1月末～2月上旬頃に各大学宛にご案内しています。

実習風景一例（令和4年度）



Aコース例：研究部での実習



Bコース例：学習支援活動の見学



見学ガイダンス

大学のオリエンテーションや講義で国立科学博物館を利用してもらい、学生の皆様に博物館の楽しさや面白さ、見学方法を知ってもらうガイダンスを行っています。

映像の貸し出しによる遠隔の見学ガイダンスにも対応しています。来館前にあらかじめガイダンスを視聴していただいた上で、学生各自でご見学いただくこともできますので、ぜひご検討ください。

- ・入会校のみご利用いただけます。
- ・別途料金等は必要ありません。（無料でご利用いただけます）

<博物館でのガイダンスの場合>

- ※ 一度に受け入れられる人数に制限があります。
- ※ 実施は国立科学博物館上野本館の開館日となります。（8月はのぞく）
- ※ 原則として、平日のみの実施とします。
- ※ 実施は、各入会校につき年2回までです。

ガイダンスの内容例（令和4年度）

- 国立科学博物館の概要
- 博物館の研究活動
- 学習支援活動
- 新入生オリエンテーション



3. 連携事業



大学パートナーシップ&お茶の水女子大学 連携事業 —海の自然史学的研究—

自然史に関する実習の機会をより広く提供するため、平成28年度より行っているお茶の水女子大学との連携事業で、大学パートナーシップ加入校の学生の優先枠を設け、参加者を募集いたします*。令和5年度は、お茶の水女子大学湾岸生物教育研究所(千葉県館山市)にて、宿泊を伴う対面実習を実施予定です。

募集対象：大学の生物学関連学科に所属する学部学生
大学の自然科学系に所属する大学院生

実施時期：令和6年2～3月頃を予定

費用：5泊程度の宿泊費・食費で1万円程度です。実習場所までの交通費は自己負担となります。

*実施概要等詳細は、募集人数や具体的な実習内容を含め、決まり次第ホームページでお知らせします。

※ お茶の水女子大学の特別聴講学生としての参加となります(「公開臨海実習(2単位)」履修相当)。学生教育研究災害傷害保険(もしくはそれに相当する保険)への加入が必要です。

主な実習内容(令和4年度)

1. 自然史博物館の活動や研究用標本、興味深い海産生物についての国内外の研究者の講義
2. 新口動物の比較形態学の実習—棘皮動物、頭索動物(ナメクジウオ)の生体使用
3. 代表的な動物門の体制の生体観察、形態観察に基づく種同定
4. ウニをモデルに海産動物の生活史の観察
—各自でウニ成体から採卵、受精と発生、左右相称な幼生から五放射体制の成体へ変態



利用者の声

「国立科学博物館 大学パートナーシップ」利用者の声

本制度により当館を利用された学生のみなさまを対象としたアンケートでは、制度及び展示等に対するご好評を多数いただきました。その一例をご紹介します。

(令和3年10月～令和4年1月、国立科学博物館上野本館にて大学パートナーシップ制度を利用し入館した学生を対象にオンラインアンケート調査を実施。)

<「大学パートナーシップ」制度について>

- 常設展が無料・特別展は差額分で入場できるのは、行くハードルが下がってとても良い。
(大学3年)
- 国立科学博物館は、豊富な展示と解説のために1日では回り切れないことが多いが、本制度があるおかげで、時間を気にせず展示を見て、回れなかった所はまた別の日に見学することができるのでとてもいい制度だと感じる。
(大学1年)
- 大学パートナーシップがあることで、友達を誘いやすくなったり、初めて訪れるきっかけになったりするので、とても良い制度だと感じます。
(大学1年)
- ちょっと調べ物をしたくなった時など、入館料がかからないと気軽に利用できるのですごくいい制度だと思う。
(大学1年)

<当館をご覧になった印象、感想など>

- 特別展「大英博物館ミイラ展 古代エジプト6つの物語」(令和3年10月～令和4年1月開催)について
 - どの展示も興味深く、展示や歴史についての説明が多くて分かりやすかったため、最初から最後まで非常に楽しめた。制度を利用してまた訪れたいと思った。
(大学3年)
- 企画展「木組 分解してみました」(令和3年10月～11月開催)について
 - 木組みの展示はどれも良かったけれど、特に錦帯橋の展示が良かった。構造を実物で、すごく近くで見れるのがめっちゃめっちゃ面白かった。
(大学1年)
- 展示について
 - 日本館の歴史ある建物、特にドーム天井や階段室のステンドグラスが魅力的です。
(大学4年)
 - 常設展の地球館3階に展示されている剥製は、圧巻のコレクション数で、1番のお気に入りです。
(大学2年)
 - 何度来ても楽しめる、知的好奇心を刺激する施設だと思います。
(大学1年)

上記の感想にみられるように、多くの方からご好評をいただいております。

全ての学生の科学リテラシー向上に資するという、本制度の趣旨をご理解いただき、ぜひともご入会をご検討下さいませようお願い申し上げます。

また、積極的利活用のために、貴学HP、SNS、学生便覧等でご紹介いただけましたら幸いです。

ご入会について

「国立科学博物館大学パートナーシップ」にご入会を希望される場合は、以下の項目をご確認の上、お手続きください。継続して入会を希望される場合も、お手続きが必要です。



申込み単位

大学、短期大学、専修学校(専門課程)及びそれらを設置する法人を単位とした申込となります。学部・学科でのお申込についても、ご相談に応じます。



会員証

入会した大学・学校には、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」を発行します。



入会期間

「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」発行日(令和5年4月1日)から令和6年3月31日までとします。

※新規入会の場合は、「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」発行の日から令和6年3月31日までとします。



年会費

年会費は以下の表のとおりです。

学生数	1千人未満	1千人以上 2千人未満	2千人以上 5千人未満	5千人以上 1万人未満	1万人以上 5万人未満	5万人以上
	新規	157,150円	209,520円	261,900円	471,430円	942,850円
継続	136,190円	188,570円	240,950円	419,050円	838,100円	1,309,520円

〈学生数について〉

- ・ 学生数は、申込時直近の学校基本調査(文部科学省指定統計)に基づく在学者数とします。
- ・ 学生数には、大学院生、通信制課程、科目履修生等を含むことができます。
- ・ キャンパスの所在地が東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県以外の場合は、そのキャンパスに所属する学生数を2で除して得た人数(その人数に小数点以下の端数が生じたときは小数点以上に切り上げた人数)を学生数とします。

例) 東京上野キャンパス4,000人 + (沖縄キャンパス500人 ÷ 2) = 合計4,250人

☆「継続」の会費は、入会月から起算して1年以上ご入会いただいた翌年度のご入会から適用します。(令和5年度は、令和4年4月1日以前にご入会いただいた大学・学校が「継続」会費の対象となります。)

☆新規入会に限り、年度途中の入会にかかる当該年度の会費については、表の該当する年会費を12で除して得た額(その額に10円未満の端数が生じたときは10円に切り上げた額)に、入会日の属する月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とします。



申込み手順

申込の準備

＜ご準備いただくもの＞

以下の該当書類をご準備いただくとともに、電話またはメールにて、下記連絡先まで入会または継続希望の旨をご連絡ください。

①入会申込書※ ②学生証の見本 ③学校基本調査(お申込み時直近のもの)の在学者数が明記された部分の写し ④学校要覧・入学案内等(新規ご入会校のみ)

※「入会申込書」はP11をコピーしてご利用いただくか、大学パートナーシップのウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。
<https://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/>

申込書の送付

上記①～④を、申込み締切日までに、下記担当までお送りください。(メールでの送付も受け付けています。)

★「入会申込書」の受理を、申込書に記載の担当者様宛にメールでお知らせします。(入会日(令和5年4月1日)以降、大学パートナーシップ会員の特典をご利用ください。)

会員証等の送付 (5月頃)

「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」と、学生数に応じた年会費の「請求書」を担当者様宛にお送りします。(5月頃の発送を予定しています。)

年会費のお振込み (5月～6月頃)

「請求書」が届きましたら、記載された年会費を請求書の発行より1ヶ月以内に当館指定の口座にお振込みください。



申込み締切日

継続申込の場合 電話・メール連絡：令和5年3月10日(金)まで
「入会申込書」等送付：令和5年4月7日(金)まで

※在学生の皆様引き続き特典を利用いただくためお早めにご連絡ください。

※年会費の振込時期等につきましては別途ご相談を承ります。

新規申込の場合 「入会申込書」等送付：令和5年3月10日(金)まで

※「国立科学博物館 大学パートナーシップ会員証」発行日から、会員特典(学生の無料入館等)がご利用いただけます。まずは入会希望の旨をご連絡ください。

※締切日以降のお申し込みにつきましては、別途ご相談を承ります。



申込み・お問い合わせ先

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

独立行政法人 国立科学博物館 事業推進部 学習課 「国立科学博物館 大学パートナーシップ」担当

電話 03-5814-9876 FAX 03-5814-9898 E-mail upartner@kahaku.go.jp

* 当館ウェブサイト(<https://www.kahaku.go.jp/learning/university/partnership/>)でも、本制度を紹介しております。

令和5年度 国立科学博物館 大学パートナーシップ入会申込書

年 月 日

独立行政法人 国立科学博物館長 殿

国立科学博物館 大学パートナーシップに下記のとおり申し込みます。

フリガナ		
大学名・学校名		
フリガナ		
学長名・校長名		
種 別 ※該当する口にチェックを入れてください	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 専修学校（専門課程）	
対象となる学生の区分	<input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 学部・本科 <input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 別科 <input type="checkbox"/> 科目等履修生・聴講生・研究生 <input type="checkbox"/> 通信生 <input type="checkbox"/> 夜間	
学 生 数	(1)東京都、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県のカンパスに所属する学生()人 (2)上記以外に所在するカンパスに所属する学生()人 ※お手数ですが、(1)+(2)÷2を学生数の合計としてご記入ください。 合計 人(年 月 日現在)	
年 会 費	円	
事 務 担 当	所属部課	
	フリガナ	
	氏 名	
	所在地	〒
連絡先	TEL	FAX
	E-mail	
ホームページアドレス	※当館ホームページから大学パートナーシップ校としてリンクしてよければご記入下さい。 (または昨年度からの変更があればご記入ください)	
貴学のご利用数の報告ご希望	※メールで、貴学のご利用状況をお知らせします。受け取られる頻度をご指定ください。 ①年度ごと ②月ごと ③その他() ④希望しない	
その他連絡先	※企画展・特別展、各種講座等のご案内を別キャンパスなどに別途お送りしてよろしければ、ご記入下さい。	

この入会申込書に、以下の3点を添えて国立科学博物館 事業推進部 学習課へ送付下さい。

- 1 学生証の見本(カラーコピー可) ※前年と変更がない場合はお送りいただく必要はございません。欄外にその旨、付記下さい。
- 2 学校基本調査(お申込時直近のもの)の、在学者数が明記された部分の写し
※対象となる学生の区分(聴講生等)が全て明記されているもの
- 3 学校要覧・入学案内等 ※新規ご入会校のみ